

JAきたみらい

あけひま サタダ

2020



vol.215

12

はいっポーズ!

《温根湯地区・松山》

村井敦さん・明梨さん・千架ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

令和2年産
農畜産物を振り返って



イルミネーション 点灯

季節の薫り



冬の足音が聞こえ始めた12月上旬。北見市内の各地でイルミネーションが点灯しています。今年は、新型コロナウイルスにより様々な活動やイベントが制限される中、市民を元気づけようと北見市中心部の小公園に色とりどりのイルミネーションが点灯され、訪れた人々の目を楽しませています。

公園内には、ピンクや白、青など約5万7000個の電飾が飾られており、コロナ禍によって日々奮闘する医療従事者へ向けての感謝の意味も込められているそうです。

新型コロナウイルスが一日も早く終息し、今まで通りの日常が戻ることを願うばかりです。



▲北見ハッカ記念館にて撮影

もくじ CONTENTS

特集 令和2年産 農畜産物を振り返って……………4	○表紙紹介……………2 「かわいい笑顔が印象的な 十架ちゃん」	○季節の薫り……………2	○JAトピックス……………10	○ほのぼのの広場……………12 ・プリティウーマン ・なかよし夫婦	○JAからのお知らせ……………13	○おひさまサラダクッキング……………18 「栗とアサリの チーズリゾット」 「栗とけんちんの漬けそば」
---------------------------------	---------------------------------------	--------------	-----------------	---	-------------------	--

表紙紹介

かわいい笑顔が印象的な十架ちゃん!

冬の寒さが本格化し、管内でも雪がちらつく11月30日、温根湯地区の村井家を訪れました。玄関を開くと一目散に飛び出してきたのは笑顔の十架ちゃんでした。

十架ちゃんの名前は、たくさんの人を結びつける架け橋のようになってほしいと願いを込めて、敦さんと明梨さんが名付けました。その思いの通り、周りの人を癒すようなニコニコとよく笑う姿が印象的でした。

昨年の7月5日に産まれた十架ちゃん。今年9月頃に歩き始めるようになってからはよく家の周りを散歩するそうです。動物が好きで、牛やねこを見かけると指を差してはしゃぎます。それ以外にも色々なことに興味があり、お絵かきをしたり、TV番組の「いないいないばあ〜」をみるのが大好きです。また、最近のお気に入りはおじいちゃんの稔さんと一緒に新聞をみることだそうです。

そんな十架ちゃんに敦さんと明梨さんは「健康で元気よく、周りの人に優しい気持ちを持って育ってほしい!」と期待を込めてメッセージを送りました。



【ご家族紹介】
左から～お父さんの敦さん(25)、長女の十架ちゃん(1)、お母さんの明梨さん(27)、おじいちゃんの稔さん(53)、おばあちゃんの薫さん(54)、ひいおばあちゃんの康子さん(73)
経営内容：乳牛や育成など含めて67頭、デントコーン、牧草を約32㍏

令和2年産 農畜産物を振り返って

令和2年も早いもので1ヶ月を切りました。今年には、天候に恵まれ植え付けから収穫まで順調に推移したことで、平年を上回る作物もありました。また、今年には新型コロナウイルスにより、今までの生活が一変した年であったかと思えます。一年を振り返り、主要農畜産物について各生産者の代表者より総括していただきました。

水稲

近年の中では過去最高の収量、会員の努力に敬意

きたみらいもち米振興会 会長 畑中 利男



令和2年度は、7月中旬以降、誰が見ても「米は大丈夫だ！」と思う生育状況でした。4

5月の育苗管理・耕起・移植作業も平年とほぼ変わらず、移植後の天候も雨こそ少なかったものの、気温は高めに経過し、生育は順調に推移しました。

7月の防除作業も各地区、ラジコンヘリ・ドローン・ビッグルを活用し、適期防除を行うことが出来ました。特にドローンによる防除作業は、「省力化、低コスト、安全性、作業能率」と、これからは間違いなくドローンを使用した防除作業が普及していく。そう思わせる高い作業性能

でした。8月の中旬以降は、高温・干ばつにより、例年より早い登熟の進みとなりました。

刈取については昨年より6日早い、9月14日から訓子府・端野地区を皮切りに開始され、17日から全地区の刈取が開始されました。

刈取期間中は、米麦センターと端野施設にて受入を行い、施設の効率稼働を図りながら、10月6日に無事終了となりました(実受入日数18日間)。

収量も平均625kg/10aと過去10年を見ても最高の豊作年となりました。

品質については、登熟は順調に進んだことから粒張は良好で、青未熟粒は昨年を下回る数字となりました



が、ここ数年問題となっている「胴割れ粒」は受入時でのサンプル確認でも少なからず散見され、昨年以上に品質に影響を及ぼす状況となっています。

11月26日に全ての農産物検査が終了し、令和2年産も全量1等を取ることが出来ました。胴割れ粒は次年度以降も多くの課題を残していません。

年間を通じて、ご尽力を頂いた生産者の皆様、JA・各関係機関の皆様に感謝を申し上げます。更なるもち米振興会の発展に邁進する所存でございます。今後とも、生産者皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

JAきたみらい産もち米(きたゆきもち)

	10a反収	等級	製品歩留	色下歩留	網下歩留
令和2年産	625kg	1等	87.0%	7.6%	5.4%
令和元年産	601kg	1等	84.4%	11.6%	4.0%
平成30年産	480kg	1等・2等	79.0%	17.0%	4.0%
平成29年産	568kg	1等	85.9%	9.7%	4.4%
平成28年産	559kg	1等	85.7%	7.4%	6.9%

麦類

「コムギなまぐさ黒穂病」発生確認ゼロ 肥培管理の成果に感謝

きたみらい麦作振興会 会長 田中 勇



本年産を振り返ると、秋小麦は適期播種により、越冬前の生育量を確保出来たことから、融雪遅れによる起

生期追肥遅延の影響を免れ、平年より3日早い作況で推移していましたが、出穂後の低温で登熟期間を要する仕上がりとなってしまいました。「コムギなまぐさ黒穂病」は全調査5年目にして発生確認ゼロを達成することが出来ました。これも生産者各位の理解と努力による肥培管理の成果によるものと感謝申し上げます。

春小麦については、融雪遅れで播種作業が若干遅れることとなり、その後の干ばつで発芽不揃いの生育が登熟にも影響し、青穂混在で刈取時期の見極めに苦慮することとなりました。

秋小麦の刈取は、7月29日から始まり、休むことなく8月7日で終了しました。

秋小麦種子は、昨年の発芽不良による生産物審査不合格を踏まえ、端野施設内に短期間で処理できる種子消毒施設を新設し、4日に分散して受入を実施しました。その結果、水分・熟度に応じた適期刈取を行い、生産物審査合格を達成することはできましたが、輸送車両の確保及び効

率運用に課題を残すこととなりました。

春小麦の刈取は、8月6日から始まり、天候にも恵まれ8月13日で終了しました。例年益明け以降の刈取になると穂発芽が発生し、別ロットでの調整作業が必須となっていることから、8月13日までの刈取終了を目指し、登熟促進資材の使用の啓蒙と、それに対する助成措置を試行するなど振興会の各種取り組みと耕作者各位の努力の結果、無事目標期日までに終了することが出来ました。

小麦の収穫は、期間が長引くと役員を始めオペレーター等に負担を強いることになってしまいますので、今後とも肥培管理の徹底にご理解頂き、品質重視で8月13日刈取終了を目標とした操業運営に更なるご協力をお願い致します。

今年の製品収量は秋小麦が平均591kg(歩留89・0%)、春小麦が平均385kg(歩留81・1%)となり、全量1等Aランクにすることが出来ました。これは生産者皆様の肥培管理と努力の結果によるものと思っております。

今後とも振興会役員・担当職員並びに関係機関と連携を図り、次年度に向けても高収量・高品質の小麦生産に取り組んで参りたいと考えておりますので、関係各位のご協力を懇願致します。

豆類

豆類の作付面積維持と品質の向上へ

きたみらい豆類振興会 会長 石川 修



本年を振り返りますと、5月は気温の変化がやや激しかったものの、降水量は平年よりやや少なく推移したことにより、播種作業は順調に進みほぼ平年並みに終了しました。その後の出芽も良好で初期生育は概ね平年並みに経過しました。

大豆につきましては、生育が旺盛で倒伏が発生した圃場が多く見られ、成熟期は平年よりは5日早まりました。収穫作業は平年並みに始まりましたが、着莢数は平年より少なく小粒が目立ったことにより、収量は平年より少ない3・9俵/10aとなりました。品質においては汚粒の発生は軽微で一部しわ粒や腐敗粒が見受けられたものの、概ね6割が2等原料での格付けとなっております。

小豆につきましては、生育が軟弱徒長気味であったため倒伏が目立ちました。開花期以降は高温干ばつで推移したこと、開花後見られ、成熟期は平年よりやや早まりました。収穫作業は平年より早く始まりまし

たが、小粒傾向であったことから収量は平年より少ない3・6俵/10aで、過熟粒もやや多かったため、品質は平年よりやや劣りました。高級菜豆につきましては、開花期以降の高温干ばつの影響を受け一部圃場で落莢が見られ、1英内粒数が平年より少なかったため、収量は10aあたり、虎豆4・3俵、大福3・5俵、白花豆3・9俵、紫花豆3・5俵で平年よりやや少ない結果となっております。

販売面につきましては、昨年の供給不足と価格高騰により、商品の縮小や輸入品への切り替えが進んだこと、新型コロナウィルスの影響も受け消費は大きく減少しておりますが、会員皆様の適期収穫と早期入庫にご協力いただいたことにより、年内需要に向けていち早く消費地に製品を届けているところです。

「きたみらい豆類振興会」としては各種豆類の作付面積維持と品質の向上を基本に「きたみらい豆類」のブランド化に向けた取り組みを行って参りますので、今後とも会員皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

特集 令和2年産 農畜産物を振り返って

品質面では、対策を講じたものの一部早生種は昨年を下回り、引き続

念しましたが、例年並みの4月中旬から始まりました。その後は好天に恵まれ順調に作業が進んだことから、早期定植といえる概ね5月上旬にほぼ終了となりました。一方、5月中旬に一部地域への降雪で苗の傷み等の被害が発生しています。



玉ねぎ

消費地のニーズに応え、計画的かつ安定的な出荷を目指し
きたみらい玉葱振興会 会長 **加藤 英樹**

本年は例年よりも土壌凍結が深かったことに加え、外気温の上昇が緩く移植作業の遅れを懸念しましたが、例年並みの4月中旬から始まりました。その後は好天に恵まれ順調に作業が進んだことから、早期定植といえる概ね5月上旬にほぼ終了となりました。一方、5月中旬に一部地域への降雪で苗の傷み等の被害が発生しています。

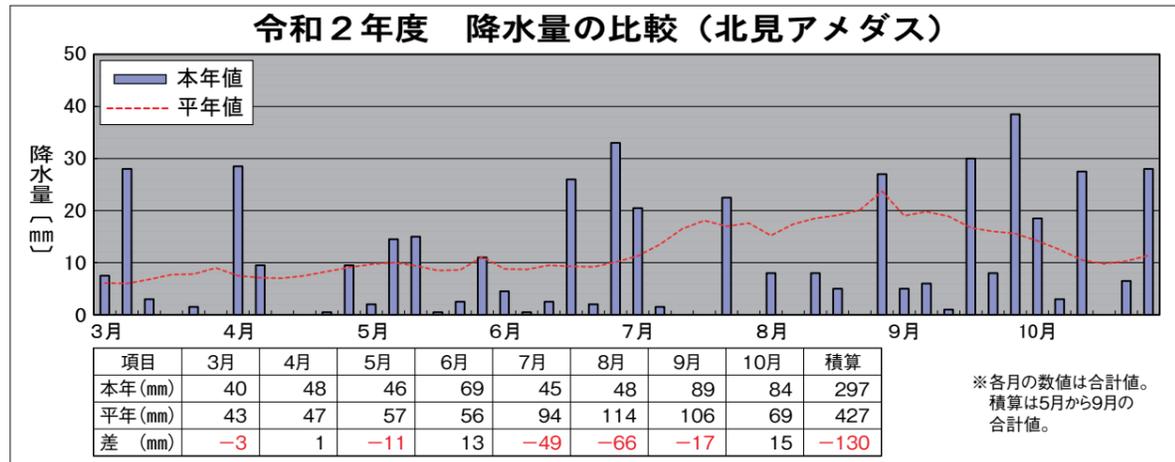
また、本年産は道産の過去最大級の生産量や新型コロナウイルスの影響もあり先行きが不透明で厳しい状況が見込まれていますが、全道段階で実施している輸出入対策や消費地保管など価格浮揚に向けての取り組みに対して期待しているところです。今後に向けても供給期間延長を目指した「超遅出し玉ねぎ」を含め、ユーザーや市場のニーズに対応するために、今更以上計画的かつ安定的な出荷を目指す必要性を強く感じています。

さらに、生産量が多く倉入れの遅延が心配されましたが、早期選果と昨年からの稼働の相内選果場や冷蔵施設の運用から順調に行われたことに加え、茎葉処理能力の強化に建設中のJAタッパーの有効利用など、施設面による生産者の労務軽減と品質向上や有利販売の実現も期待の大きなところです。

最後に、コロナ禍の早期収束を願うばかりではありますが、一方で食糧基地北海道としては、今後も「安全・安心・安定」の玉ねぎが求められますので、今後も情勢に適した各種対策等の取り組みに対する、会員皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、併せて次年度も実り多い年になる事を祈念申し上げます。



さらに、生産量が多く倉入れの遅延が心配されましたが、早期選果と昨年からの稼働の相内選果場や冷蔵施設の運用から順調に行われたことに加え、茎葉処理能力の強化に建設中のJAタッパーの有効利用など、施設面による生産者の労務軽減と品質向上や有利販売の実現も期待の大きなところです。



てん菜

2年連続豊作、増反に向け会員と共に前進
きたみらいてん菜振興会 会長 **長山 和弘**



本年を振り返りますと、融雪も早く順調に移植、播種作業が進むかと思われましたが、5月に入ると各地で霜による被害の発生、夏には干ばつ傾向と、てん菜の生育には厳しい年となりました。そのような厳しい気象背景の中でしたが、現在の収量見込みはきたみらい平均62・5t/ha、糖分16・6%と当初見込みの58t/haを大幅に上回りました。本年も豊作の年となったのは生産者皆様の肥培管理と努力の結果だと思えます。



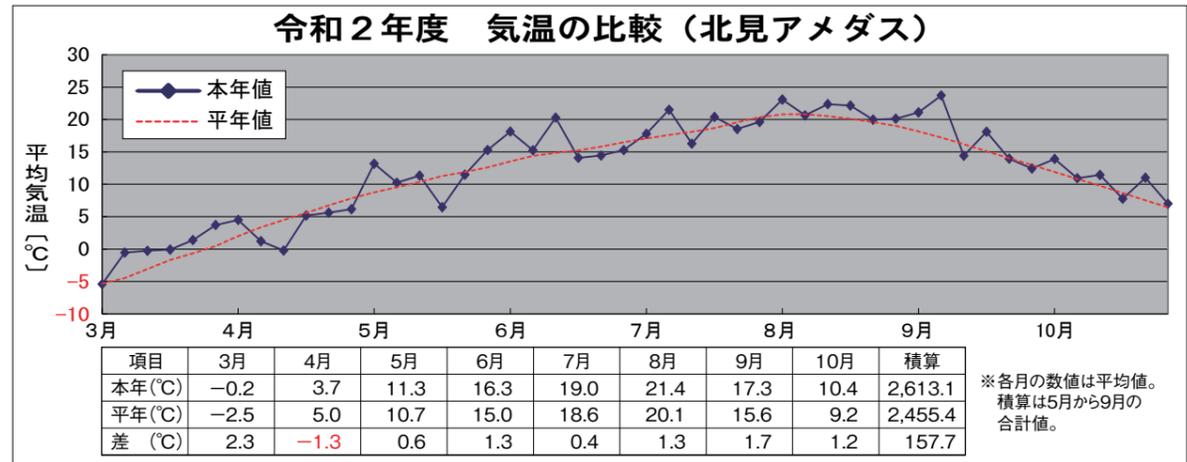
輸送の関係につきましては、恒常的なトラックの運転手不足や、働き方改革からの休憩・休日取得の義務等により輸送計画の見直しを行いました。また、それに伴い早期出荷の取り組み拡大を図るべく、受入開始日を例年より前倒しさせ、早期出荷については10月13日から、全地区輸送開始は10月18日と、早める事となりました。生産者皆様には急な変更

ではございましたが、対応して頂いた事に心より感謝申し上げます。また、本年も予定収量を大幅に超え農家貯蔵量が多く、生産者皆様にはご苦労かける事になりましたが、ごちからもご対応頂いた事に感謝申し上げます。

JAきたみらい産 てん菜

	作付面積	ha収量	糖分	ha産糖量
令和2年産見込	3,443.94ha	62.53	16.6%	10.38 t
令和元年産実績	3,519.91ha	66.68	17.2%	11.44 t
平成30年産実績	3,486.82ha	51.71	17.6%	9.09 t

令和2年産見込は11/22現在値より



特集 令和2年産 農畜産物を振り返って

令和2年産の畜産は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を及ぼしました。小中学校の休校措置により、学校給食用の牛乳が行き場を失い、バター、脱脂粉乳等の加工乳製品向けに消費されました。そのため、それら乳製品の在庫量が過去に例を見ないほど膨れ上がり、現在まで至っている状況です。それもこれも、生乳の廃棄という最悪の状況を作らないという農協と乳業の意思統一の賜物であり、生産者としてはありがたい事でありましたが、ステイホームを余儀なくされ、家庭での乳製品消費が伸びる中において家庭用バターが一時的に不足する事態になりました。生乳の廃棄を無くするため乳業工場での処理量の多い業務用（大きい）バターを優先して作り、急に増えた家庭用バターの需要に追いつかなかつたことで消費者の



生乳

消費拡大に向け、関係機関との連携強化を目指し
きたみらい酪農振興協議会 会長 **中島 英樹**

令和2年産の2年目の今年、見えざる敵によって社会状況は一変し、普通の日常が吹き飛ばされました。1月に始まった新型コロナウイルスの災禍はあっという間に広がり、我々酪農業にも多大な影響を及ぼしました。小中学校の休校措置により、学校給食用の牛乳が行き場を失い、バター、脱脂粉乳等の加工乳製品向けに消費されました。そのため、それら乳製品の在庫量が過去に例を見ないほど膨れ上がり、現在まで至っている状況です。それもこれも、生乳の廃棄という最悪の状況を作らないという農協と乳業の意思統一の賜物であり、生産者としてはありがたい事でありましたが、ステイホームを余儀なくされ、家庭での乳製品消費が伸びる中において家庭用バターが一時的に不足する事態になりました。生乳の廃棄を無くするため乳業工場での処理量の多い業務用（大きい）バターを優先して作り、急に増えた家庭用バターの需要に追いつかなかつたことで消費者の

令和2年産の畜産は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を及ぼしました。小中学校の休校措置により、学校給食用の牛乳が行き場を失い、バター、脱脂粉乳等の加工乳製品向けに消費されました。そのため、それら乳製品の在庫量が過去に例を見ないほど膨れ上がり、現在まで至っている状況です。それもこれも、生乳の廃棄という最悪の状況を作らないという農協と乳業の意思統一の賜物であり、生産者としてはありがたい事でありましたが、ステイホームを余儀なくされ、家庭での乳製品消費が伸びる中において家庭用バターが一時的に不足する事態になりました。生乳の廃棄を無くするため乳業工場での処理量の多い業務用（大きい）バターを優先して作り、急に増えた家庭用バターの需要に追いつかなかつたことで消費者の



肉用牛

コロナに負けるな 一致団結
きたみらい黒毛和牛振興会 会長 **木島 作治郎**

令和2年産の畜産は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を及ぼしました。小中学校の休校措置により、学校給食用の牛乳が行き場を失い、バター、脱脂粉乳等の加工乳製品向けに消費されました。そのため、それら乳製品の在庫量が過去に例を見ないほど膨れ上がり、現在まで至っている状況です。それもこれも、生乳の廃棄という最悪の状況を作らないという農協と乳業の意思統一の賜物であり、生産者としてはありがたい事でありましたが、ステイホームを余儀なくされ、家庭での乳製品消費が伸びる中において家庭用バターが一時的に不足する事態になりました。生乳の廃棄を無くするため乳業工場での処理量の多い業務用（大きい）バターを優先して作り、急に増えた家庭用バターの需要に追いつかなかつたことで消費者の

◇令和2年度 生乳生産実績

	目標乳量 (t)	R1年度実績対比	R2年4月~10月実績数量 (t)	進捗率
全道	4,020,872	102.5%	2,356,454	58.6%
北見管内	599,826	104.3%	353,042	58.9%
きたみらい	89,927	100.2%	52,043	57.9%

◇衛生的乳質実績 (R2年4月~10月)

	生菌数 (1.4万以下)		体細胞数 (30万以下)	
	前年増減	前年増減	前年増減	前年増減
全道	97.9%	△0.1	98.3%	0.2
北見管内	97.2%	△0.3	97.8%	0.0
きたみらい	97.6%	△0.6	97.0%	△0.5

馬鈴しょ

市場からの「安定品質と安定供給に伴う評価」、これが「選ばれる産地」きたみらいの馬鈴しょ
きたみらい馬鈴薯振興会 会長 **石村 博樹**



本年は例年になく少ない積雪により土壌凍結が深くまで入り、4月の融雪は平年並みだったものの地温の上昇が遅れ、播種作業のスタートが遅れました。そのような厳しい環境でスタートした播種作業でありましたが、5月に入ってから好天が続く中旬には概ね終了となりました。その後6月は曇天が続く日照不足により生育の徒長が見られましたが、7月には好天に恵まれ平年並みの生育へと回復しました。例年同様に7月中旬より前進栽培の収穫が始まり過去最速出荷となった昨年度より更に2日早い7月27日の選果スタートとなりました。府県産地の切り上がり早く、市況も高値で推移していた事もあり、市場から強い要望を受け早期出荷により近年に例を見ない高市況でのスタート、有利販売へと繋げる事が出来ました。その後一般栽培の収穫も順調に進みましたが8月に入ってからの連日の

気温30度を上回る炎天下の中での作業が続く生産者、収穫作業の方々は大変な苦勞の多い収穫期だったことと思います。このように本年産も様々な予期しない気象変動の中での栽培となり、一株当たりの平均個数は少なくなりましたが、大玉傾向となり男爵の平均粗反収は全道3,240kg/10aに對して、きたみらいは3,580kg/10aと全道平均反収を上回る高収量となり、改装のLM以上の比率も平年を大きく上回る65%以上を維持しております。又、各市場においても、きたみらい産馬鈴しょは厳選出荷に努めている事もあり、品質の高評価を得ているところでもあります。厳しい気象変動の中で本年も高収量高品質に恵まれたのは馬鈴薯振興会歴代役員と生産者皆様の研鑽と振興会活動による数年に亘る「生産向上対策プロジェクト」の様々な試験と生産現場でのあらゆる試験研究による成果であると確信しております。加工系品種では平年並みの収量となり、チップ系はコロナ禍の中で集

ごもり需要に推され消費は順調ですが、サラダ系においては、インバウンド景気が落ち込み、更に業務用を中心に外食産業の停滞により消費動向は苦戦を強いられる状況です。新たな需要喚起、新生活スタイルの変化に對した対策を模索していかなくてはならないと考えています。本年より始まりました生食の混み玉の受け入れについては、生産者段階での期待も大きい中、取り進めさせて頂いておりますが、大きな混乱もなく順調に改装も進み選果歩留まりも平年並みの値を示しております。また、稼働初年度に当たる収穫コントラクター事業は77haの受託となり、収穫作業負担の軽減において、今後の馬鈴しょ栽培面積の維持に繋がる事に大きな期待をしております。今後の販売については、コロナ禍の中で、様々な消費動向は変化の可能性があると思っております。市場との情報共有を密に図りながら取り組んで参り、本年産の大玉傾向と品質の良さを生かして、販売終了まで有利販売に繋げて参りたいと思っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、次年度も健康で実り多い年になる事を祈念申し上げます。





J A トピックス

玉ねぎ集出荷・小麦乾燥調製貯蔵施設を見学

～JAきたみらい女性部訓子府支部～

JAきたみらい女性部訓子府支部の役員8人は、11月16日に役員研修を開催しました。

当日は新型コロナウイルス感染防止対策として手指のアルコール消毒とマスク着用のもと研修を行い、前半は当JAの石井主任（玉ねぎG）の説明を受けながら玉ねぎ集出荷施設を見学しました。中には初めて見学をするという役員もあり、階段を上ると最初に窓から見える出庫場の様子を興味津々に眺めていました。

後半は小麦乾燥調製貯蔵施設に移動し、当JAの高橋GM（農産G）の解説を交えながら施設を見学しました。

役員研修を終えて南まゆみ支部長は「多くの方が携わり自分たちの作物が各地に届けられていることを実感した。役員のための少人数ではあったが、研修ができて良かった。来年はコロナも終息し、女性部のみんなで活動ができることを願っている」と話していました。



▲玉ねぎ集出荷施設



▲小麦乾燥調製貯蔵施設



要望を受け、きたみらい牛乳を提供

～置戸町学校給食センター～

当JAでは今年度10月から12月の3か月間、置戸町学校給食センターへきたみらい牛乳を提供しています。同センターからは町内の小学校、中学校、高校に給食を配送しており、小学校は児童と教員合わせて140本、中学校と高校は生徒と教員合わせて125本を10月分として提供しました。

今回の提供は、同センターから地産地消と食育活動の一環として地元産の牛乳を給食に取り入れたいと要望があったことをきっかけに行われました。

置戸小学校の児童はきたみらい牛乳を飲むと、みんなそろって「おいしい！」と声をあげ、とても好評な様子でした。



▲きたみらい牛乳を手「いただきます！」



▲置戸町学校給食センターで配送している給食

スマート農業研修会を開催

～女性農業者へスマート農業を広く普及～

当JAは11月5日、ホクレン訓子府実証農場で女性限定スマート農業研修会を開催し、管内の女性農業者29人が参加しました。

今回の研修会は、少子高齢化によって組合員戸数が減少している中、女性農業者にスマート農業を推進し、普及させていくことで人手不足の解消や労力の省力化につながり、作業負担の軽減とすることを目的で開催しました。

午前は、座学でスマート農業と農作業安全について学習。「スマート農業について」では、ホクレン訓子府実証農場の佐久間係長からトラクタのガイダンスシステムや自動操舵、可変施肥について紹介しました。農作業安全では「家族と経営を守る農作業安全対策とは？」と題し、農研機構の積ユニット長から、農作業安全は経営と生活に密接につながっているとしたうえで、実際の事故事例を踏まえて未然に防ぐためのアプローチ方法などが伝えられました。

午後は3グループに班分けされ、屋外で自動操舵トラクタ試乗とGPSガイダンスデモ機の体験、アシストスーツの試着体験、農作業事故防止に向けたトラクタや作業機の見学を行いました。参加者の半数は、自動操舵のトラクタの運転は初めてで「トラクタの試乗体験が楽しかった。今後、自動操舵のトラクタで作業をしたい」と意欲をみせていました。アシストスーツの試着では、実際に重りを持って身体への負担が軽減できることを実感し、トラクタや作業機の見学では、作業中に潜む事故リスクについて学びました。ステップの誤った降り方でケガをする事例も多く、農作業事故の危険性を再確認する機会となりました。

参加者は「自動操舵のトラクタの試乗やアシストスーツの試着など、実際に体験することで分かりやすく、とても充実した体験となった。農作業安全についても家族と共有し、事故を減らすためのルール作りをしていきたい」と意気込みを語りました。



▲スマート農業について学習する参加者



▲作業機を前に農作業事故防止のポイントを学ぶ参加者



▲自動操舵トラクタを試乗する参加者



▲アシストスーツを体験する参加者

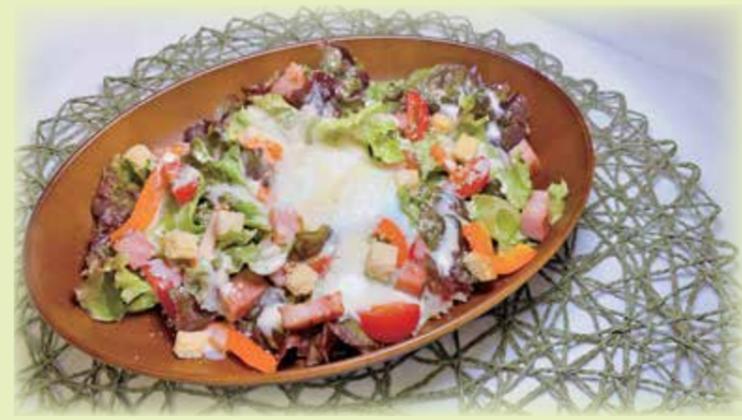
JAからの お知らせ
INFORMATION

白花豆のほのかな甘み

「白花豆シーザードレッシング」リニューアル!!

JAきたみらいのオリジナル加工品「白花豆で作ったごまドレッシング」がリニューアルされ「白花豆シーザードレッシング」が12月1日に発売されました。当JAは白花豆の生産量が日本一! 食物繊維が多く含まれると言われる白花豆のほのかな甘みと、国産大豆を使用した豆乳と道産プロセ

スチーズの濃厚でクリーミーな味わいが楽しめるシーザードレッシングです。シーザーサラダはもちろん、サーモンと玉ねぎのサラダ等各種に是非ご利用下さい。1本(200ml)、一般販売価格600円(税抜)。北見市内の量販店やスーパーを中心に取り扱っています。



【問い合わせ先】
JA企画開発グループ ☎0157(32)8790まで

ガーデニングハウス「四季倶楽部」をご紹介します



JAきたみらいセンター事務所に隣接し運営している株式会社サン園芸のガーデニングハウス「四季倶楽部」では、春から夏の家庭菜園シーズンは種苗などを中心に販売していますが、秋から冬にかけては多くの園芸雑貨が入荷し、庭や畑の植木や花を鉢に植え替える「鉢上げ」が終わる時期には、新たな園芸用品を求める来店客が多くみえます。

雑貨の一部には、一般の方や当JAフレッシュミズ会員が作っているハンドメイド商品も並べられており、アクセサリやポーチをはじめ、スタイやミトンのベビー用品など幅広い商品が並んでいる他、今流行りの多肉植物も多数入荷していますので、是非足を運んでみてはいかがでしょうか♪



ガーデニングハウス 四季倶楽部
ガーデニングハウス 四季倶楽部
所在地: 北見市中ノ島町1-1-8
定休日: 第2・4土曜日、日曜、祭日
営業時間: 午前9:00~午後4:00
※第1・3土曜日は午前営業のみ

ほのぼのの 広場

プリティ ウーマン
Pretty Woman



「心強い仲間と楽しい活動を!」

上常呂地区・広郷
よしこ
草場 佳子さん(61歳)

今回は女性部上常呂支部の草場支部長に登場いただきました。

◆出身、結婚に至るまでは?
実家は北見市豊地で、以前は北見赤十字病院の薬局で働いていました。その頃、同級生の知り合いだった夫と出会い、よくグループで飲みに行ったり初日の出を見たりしていました。夫のママで優しい性格に惹かれ付き合うようになり、1年半程で結婚。まさか、実家から約2分のところに嫁ぐとは思っていませんでした(笑)

◆ご自身はどんな性格だと思いますか?
前向きな性格です! あまりよくよすることはなく、なんでも何とかなると思えます。また、好奇心旺盛でいろんなことをやってみたくります。水泳教室やパン作り教室に通ったり、介護ホームヘルパーの資格などを取りました。

◆趣味は?
夫がよく連れて行ってくれるドライブが好きです! 夫はテレビで見た有名な場所に行くのが好きなので、北海道は全部巡ったかもしれません! 仕事の合間に行くこともあり、他地域の作物をついつい見せてしまいます。

◆組織活動の魅力は?
色々な人に出会え、輪が広がりたい皆さんの考え方を学ぶことができます。同じ立場の人だから話せることもあり、悩みも聞いてもらえます! そして、個人では行けないような場所に視察研修で行けるなど楽しみもたくさんあります。是非、一緒に楽しく活動しましょう☆

Qお付き合いのきっかけは?
置戸の青年団で出会い、お付き合いに至りました。

Qお二人の趣味は?
信幸さん…車や農作業機械などの機械いじりが好きです。
敦子さん…ものづくりが好きです! 羊毛から糸つむぎをつかって毛糸づくりもしました。

Qこれからしたいことは?
信幸さん…次は夫婦2人で、お城や神社を巡る旅行に行きたいですね。
敦子さん…旅行で、おいしいものを(特に海鮮!) 食べ歩きたいです。

Qお互い好きなのは?
信幸さん…肝っ玉が太いところです。
敦子さん…頼りがいがあるところです。お酒が入るとちょっとめんどろですが(笑)

Qお互いへの感謝の言葉
信幸さん…いつも愚痴を聞いてくれてありがとう。
敦子さん…健康に気をつけて、楽しく稼いでください! 時々、家事も手伝ってね♪



ながよし夫婦

2人で食べ歩きやお城巡りがしたい!

置戸地区・勝山
堀 信 幸さん(51歳)
あつ 敦 子さん(45歳)

INFORMATION

第10回 理事会報告

11月20日、午後1時00分より第10回定例理事会が開催され、報告事項11件、決議事項6件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告について
- ③第3四半期決算見込について
- ④反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況について
- ⑤疑わしい取引の届出状況について
- ⑥重要病害虫への対応経過について
- ⑦高収益作物次期作支援交付金の運用見直しに関する追加措置について
- ⑧R2年産麦類の生産実績について
- ⑨R2年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果販売状況について
- ⑩R2年産馬鈴しょ・玉ねぎの概算金について
- ⑪北見市新庁舎落成に係る寄付について

【決議事項】

- ①出資減口について
- ②理事に対する資金の貸付について
- ③年末手当の支給について
- ④重要病害虫支援対策について
- ⑤令和3農業年度事業推進方針について
- ⑥固定資産の取得について

秋の農業用廃プラスチック回収

当JAでは11月10日と11日の2日間、西相内のJA施設敷地内で農業用プラスチックや農業用ビニール、ポリフィルムの回収を行いました。

生産者は廃プラを種類ごとに分別し、受入所へ持ち込みました。積み込まれている廃プラは専門業者によって荷下ろし作業が行われ、今回は595件、約180トンの回収量となりました。回収した廃プラは、廃棄物運搬業者によって苫小牧のリサイクル業者へ運搬されていきます。



▲農用廃プラを回収する様子

認知症を支える② 認知症と言われた家族とどう接するか

家族が認知症の診断を受けるのは衝撃が大きく、現状を受け入れられずに厳しく接することもありますが、それでは症状の悪化を招いてしまいます。認知症の人との接し方の主な要点は以下の3つです。

①驚かせない

認知症になると、小さな刺激でも恐怖心を抱くようになります。用事がある時は正面から一人で近づき、ゆっくりと目を合わせながら穏やかに話しかける事を意識しましょう。



②急がせない

理解力や判断力の低下も認知症の症状です。行動に時間がかかるようになり、物事が決められなくなってきました。ゆっくりと反応を待ち、本人のペースを守ってあげましょう。短い言葉で話す、選択肢を絞るというような工夫があると出来るが増えます。

さっき出掛けるって言ったのに何で準備してないの。こんなに散らかして！早くしてよ！

出掛けるから着替えようか。どっちの服がいい？



自分が着る服を選ぶことも難しくなります

③尊厳を傷つけない

認知症が進み出来ないことが増えてくると、それを取り繕うためにごまかしや責任転嫁をすることがあります。「自分が変かもしれない」という恐れから来る反応なので、否定しないであげましょう。間違いは見えないところでそっと直しておく、安心できるような声かけをするなどのサポートがあると理想的です。

私の保険証、どこにやったの？

また保険証をなくしたの？自分がなくしたんだから、人のせいにならないでよ。迷惑だからしまっ場所くらい決めたらどう？

私は持っていないみたい。まずは落ち着いて、一緒に探そうか。再発行もできるから大丈夫だよ。



認知症を悪化させないポイントは、なるべくストレスをかけず穏やかな生活を送る事です。症状や関係性によってより良い対処方法は異なります。自分ならどうするか考えてみましょう。

認知症の患者の家族として最も大切なのは、周囲に認知症を隠そうとしないことです。実際に介護をする際には、上に書いたような理想的な対応が取れないこともあるでしょう。そうした時は、専門家や同じ立場の人に話すことで、問題を解決できるかもしれません。家族全員が健康的な生活を送るために、他者と悩みを共有したり、出来ない部分は割り切って色々なサービスを利用することも必要です。

お問い合わせ:担い手グループ 24-2145 (榎本・辻本・長谷川)

未来を拓く協同組合

SDGsとJA

監修=JCA(日本協同組合連携機構)



すべての人に健康と福祉を

世界では毎年500万人を越す子どもたちが5歳の誕生日を迎えられずに命を落としていることなどを背景に、SDGs(エスディーゼーズ、持続可能な開発目標)では、「すべての人に健康と福祉を」を目標の一つに掲げ、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」ことを目指しています。

JAグループでは、組合員・地域住民の健康や福祉に配慮した取り組みを展開しています。厚生連病院は農村地域の医療の確保に努めている他、JAはデイサービスを開設したり、歯科医のいない島しょ部で訪問歯科診療をしたりしています。高齢化社会において組合員や地域住民が健康に暮らせるよう、健康寿命100歳を目指した介護予防運動やウォーキングも定期的に開催。子育て支援の取り組みもあり、乳幼児を抱えた母親の不安や悩みの解消、リフレッシュを目的として、母親と子どもの交流の場を設けています。

SDGsに関連する主な取り組み

信州まるごと健康チャレンジ(長野)

JAグループや生協など県内の協同組合が連携し、大学などの協力を得て、県民の健康づくりを目的にしたプロジェクト「信州まるごと健康チャレンジ」を実施。参加者は減塩やバランスの良い食事、運動などに取り組み、健康寿命を伸ばすことを目指しています。



協同組合の地域共生フォーラム(JCA)

JCAは2019年9月、「協同組合の地域共生フォーラム」を開催しました。医療・福祉に関わる協同組合の役員を中心に約250人が参加し、地域の実情に合わせて医療・福祉を一体的に地域住民へ提供する方法や協同組合の連携について議論を深めました。

パネルディスカッションや分設会でのJAグループの報告

JA愛知厚生連足助病院	「病院を拠点とした地域コミュニティ再生の取り組み」
JA広島厚生連吉田総合病院	「地域の基幹病院として、行政と一体での地域包括ケアの取り組み」
ジェイエー長野会	「県域で創る社福と厚生連、単協の協同・福祉事業」

JCAホームページ等から作成

耕そう、大地と地域のみらい。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



11月号まちがいさがしの当選者

11月号のまちがいさがしの答えは「2、3、5、8、10」でした。正解者52名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・黒須 正幸さま (北見) ・五十嵐心愛さま (端野)
- ・大丸 歩人さま (上常呂) ・有澤きよ子さま (上常呂)
- ・大場留美子さま (相内) ・斉藤 英明さま (相内)
- ・橘 芽唯さま (留辺蘂) ・小山田万里子さま (訓子府)
- ・柴田 豊喜さま (訓子府) ・石川 莉奈さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「大正金時と鶏肉のキーマカレー」と「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「白花豆シーザードレッシング」と「玉葱の塩だれ」をプレゼント致します。

農 作業も終わり、体休めに温泉、旅行とのんびりしたいと思うのですが、新型コロナで我慢、我慢の時ですね。(北見地区 黒須 正幸さん)

仕事は変わらずあれど、休暇は自由にとはいかずモヤモヤしますね。11月に入り、新型コロナウィルスが再び猛威をふるい始め、ステイホームもそろそろ限界...と思います。健康第一に新年を迎える準備をしましょう！

1 年が早く感じる年となりました。農作業も終わり、冬は何をしようかと考えている内に春になることでしょう。(訓子府地区 諸橋 陽子さん)

1年は長いようで、年の終わりに近づくとあっという間だったな~と感じます。今年はコタツとちよっといミカンを用意してのんびり春を待つのもいいですね。

ま ちがいさがし、たのしみにしてしています。(訓子府地区 細川 実柚さん)

ありがとうございます。かわいいイラストもいっしょに描いてありました。絵がとってもじょうずですね！またぜひチャレンジして下さい★

ま ちがいさがし、いつも真剣に見ています。2、3個はすぐ見つかるんですが後がね。でもポテ防止にはなと思っています。問題は大きですが、楽しみにしています。(相内地区 大場 留美子さん)

載っているとついついトライしてしまうまちがいさがし。イラストも季節の移り変わりを感じられて良いですね。毎月の楽しみの一つとしてこれからも遊んでいただければと思います！

VOICE 読者の声



ベジタブルライフ

クワイのプロフィール
 【分類】オモダカ科オモダカ属
 【原産地】中国南部
 【おいしい時期(旬)】11~12月
 【主な栄養成分】炭水化物、カリウム、食物繊維、葉酸、ビタミンB6、リン、亜鉛など

クワイ

~「芽が出る」縁起物~

見分け方



保存方法



クワイの子ガラ



クワイのいろいろ



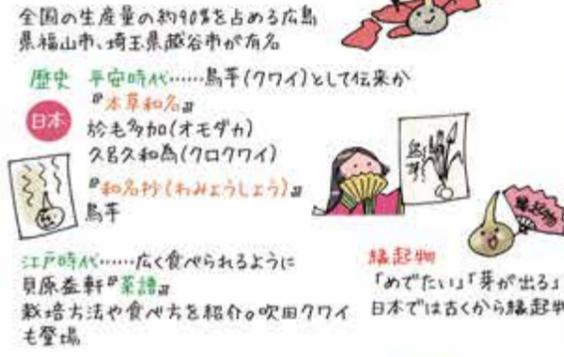
楽しみ方・食べ方のコツ



さまざまな料理



クワイのじみツ



栗とアサリのチーズリゾット



◆ 材料 (1人分) ◆

- むきアサリ 30 g
- ゆでた栗 10粒
- ニンニク (みじん切り) 1/2片
- オリーブ油 大さじ1と1/2
- チキンブイヨン 3/4カップ
- 冷や飯 100 g
- 白ワイン 大さじ1
- パルメザンチーズ 大さじ2
- ミツバ 適宜
- 塩・こしょう 適宜

◆ 作り方 ◆

- ① フライパンにオリーブ油、アサリ、栗、ニンニクを入れ、弱火で炒める (ニンニクの香りを焦がさないように出す)。
- ② ①に白ワインを入れ、強火にしてチキンブイヨンを素早く入れる。
- ③ ブイヨンが沸いたらあくを取り除き、冷や飯を入れほぐしながら1分ほど煮る。
- ④ 仕上げに適当な大きさに切ったミツバ、パルメザンチーズを入れ、さっくりと混ぜ合わせ塩・こしょうで味を調え出来上がり。

栗けんちんの漬けそば



◆ 材料 (4人分) ◆

- ささがきゴボウ 1本分
- ニンジン (細切り) 1/2本
- 鶏もも肉 (細切り) 1枚
- むき栗 20粒ほど
- マイタケ 1パック
- サラダ油 大さじ2

〈漬け汁〉

- かつおだし 5カップ
- しょうゆ 1/2カップ
- みりん 1/2カップ
- 料理酒 1/4カップ
- いりごま 適宜
- ミツバ 適宜
- 干しそば 400 g

◆ 作り方 ◆

- ① 鍋にサラダ油を熱し、ゴボウ、ニンジン、鶏もも肉、栗を炒める。
- ② ①に漬け汁用の材料とほぐしたマイタケを入れ沸騰させ、中火であくを取りながら20分ほど煮る。
- ③ 器にそれぞれ②を盛り付け、いりごまとミツバをのせ、ゆでて冷水で締めたそばを添えて出来上がり。

✿ 献立を監修した人 ✿ 茨城県笠間市にある「天晴 (旧キッチン晴人)」オーナーシェフ 永井 智一 (ながいともかず)

編集後記

- ・ 2020年を振り返ると、コロナウイルスに振り回される1年ではなかったでしょうか。様々な行事が自粛となり、これほど人と会う機会が奪われる年はなかったはず。これから年末年始を迎えますが感染予防対策を万全にし、人と会う時間を噛みしめて来年への活力に繋げたいですね。
- ・ 本年もおひさまサラダをご愛読いただきありがとうございました。パワーアップした広報誌をお見せできるよう編集員一同、来年も頑張りますので宜しくお願いいたします!! (森谷 弥生)

JAきたみらい概要

(令和2年11月14日現在)

- ・ 組合員数 (正) 1,625人
- ・ 組合員数 (准) 6,150人
- ・ 組合員戸数 (正) 945戸
- ・ 貯 金 110,919百万円
- ・ 貸 出 金 21,558百万円
- ・ 出 資 金 4,813百万円